

般質問



一般質問とは、議員が市の施策の全般について質問することです。

第4回定例会では、

12月3日、4日、5日の3日間にわたり

15人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。

※答弁にある施策の内容は、12月時点のものです。

《Q》 *C I O補佐官の任用について市の見解は

《A》 任期付職員の採用等を含め、様々な方策を検討する



櫻沢 裕人 議員（新政会）



[羽村市DX推進基本方針] 3つの柱

市長 ダツシユボーデの整備・活用は、「羽村市DX推進基本方針」に資する取組になるものと捉えている。特に、多様なデータを基にした客観的な政策立案の推進につながり、政策の有効性を高める手法となることが考えられる。

課題を踏まえ、市の実情に沿ったダツシユボーデの

質問 羽村市版*行政ダツシユボーデの整備は、「羽村市DX推進基本方針」に掲げる理想のまちづくりの実現に資すると考えるが、市の見解は。

質問 情報技術の急速な進歩に対応するために、高度な専門的知識や経験を有する人材をC I O補佐官として任用することが望ましいと考えるが、市の見解は。

整備について検討する。

市長 令和6年度からは、一般財団法人GovTech東京に所属する専門的人材の効果的な活用について検討するところに、行政のDXを一層推進するため、任期付職員の採用等も含め、様々な方策について検討を進める。

■その他の質問
学校給食の安定的な提供について

*C I O…最高情報統括責任者のこと。
市では行政のデジタル化を進めることにあたり、副市長をC I Oに位置づけ、情報通信技術の活用や行政運営の改善に取り組んでいる。
*行政ダツシユボーデ…市が保有するデータを集約し、グラフや地図等を用いて分かりやすく可視化したもの。



さくにゅう
《Q》授乳室で搾乳もできることを示す取組を

《A》分かりやすい表示や周知をしていく



金子 ひとみ 議員 (公明党)

**安心して搾乳できる
環境づくりについて**



授乳室には子供と入るもののとの認識から、母親一人で入ることに抵抗を感じる方がいる。

質問 他自治体では、授乳室で搾乳もできることを示す「搾乳マーク」を併記している。市でも導入すべきでは。

市長 市内にある東京都の認定施設「赤ちゃんふらつと」では、搾乳に必要な環境が整っている。搾乳する方も気兼ねなく利用できることを分かりやすく表示し、必要な周知を行う。

**市民意見を踏まえた
公共施設再配置構想
(たたき台)の
進め方について**

質問 「たたき台」について、

教育長 将来的な学校の在り方の一つとして、「義務教育学校」の設置を検討。質の高い学びを実現する教育の在り方を市民と共に検討していく。

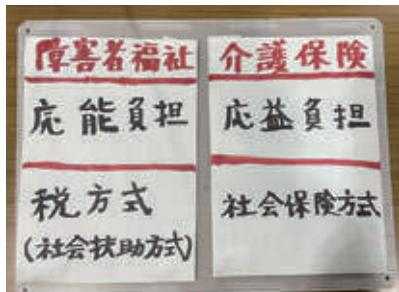


《Q》障害者の介護保険サービス移行による変化は

《A》利用者負担とサービス内容に変化が生じる



障害者の「65歳の壁」を問う



サービス移行により負担等が変化する
「65歳の壁」問題

■ その他の質問
地域手当について問う
2期目の橋本市政で停滞感のある羽村市政をどう変えるか



馳平 耕三 議員 (令和かがやき)

公共施設の利用者や団体から意見を聞いたことは。

市長 対象者を限定した機会は設けていないが、たまたま台への意見募集で寄せられた意見の中に、多数含まれていると捉えている。

質問 市民が納得できる未

来の構想をどのように明確化し、情報提供するのか。

市長 意見募集から明らかになつた市民の懸念や課題

について、見直すべきところは見直し、丁寧に説明しながら、より良い未来につながる公共施設再配置構想として策定していく。

質問 学校統廃合を進める中で、教育ビジョンを市民に伝えることが必要では。

教育長 将来的な学校の在り方の一つとして、「義務教育学校」の設置を検討。質の高い学びを実現する教育の在り方を市民と共に検討していく。

ビスでは、かかった費用の1割から3割までが所得等に応じて利用者負担となる。

質問 解決策の1つとされ優先利用することが求められる。

質問 市では、障害福祉サービスから介護保険サービスに変わることにより、どのような変化があるか。

市長 利用者負担とサービス内容に変更が生じる。

質問 障害福祉サービスでは、サービスの提供に要した費用の1割が利用者負担となるが、障害者本人と同一世帯の配偶者が市民税非課税の場合、利用者負担は生じない。一方、介護保険サー

ビスでは、かかった費用の1割から3割までが所得等に応じて利用者負担となる。

質問 「新高額障害福祉サービス等給付費」は要件が厳しすぎるという声がある。要件を撤廃し、サービス履行する全ての人を対象にする考え方いか。

市長 国の制度であり、国の制度設計に沿った対応が適切と考えているため、現状の対応を継続していく。

利用者の皆様が安心して円滑にサービスを利用していくだけるよう、引き続き、制度の仕組みや手続きについて丁寧に説明していく。

《Q》集会施設の予約等に出向かなくて済むシステムを

《A》利用プロセス全体のデジタル化を検討していく



中嶋 勝 議員（公明党）



集会施設の利用では、事前の鍵の受取りなど手続きが煩雑な現状がある

**利便性の良い
地域集会施設管理運営
システムの構築を**

利用方法が煩雑な現状から、予約等に出向かなくて済む方法の構築を。

質問 市公式LINEを使つた予約や、現金以外の支払いを可能にしては。更に、

施錠・解錠を電子化し、鍵の受け渡しも不要にしては。

市長 公共施設個別再配置計画策定の中で、利用プロ

セス全体のデジタル化について検討していく。

具体的には、市民が窓口

に出向くことなくスマホやパソコンから簡単に予約、オンライン上で決済できるシステム等を構築。施錠等

は、暗証番号が扉の鍵となり、利用者ごとに暗証番号を発行、メール等で通知することで鍵の受渡しが不要となるスマートロックシステムの活用を視野に入れ、検討していく。

**各地の災害を教訓に、
更なる避難所の充実を**

避難所となる学校体育館に待望のエアコンが設置されたが、肝心の電源確保ができるでない。

質問 太陽光発電装置の設置と蓄電池の導入を具体的に検討してはどうか。

市長 避難所のうち3校には、太陽光発電装置及び蓄電池を設置している。今後の設置は、学校の再編や施設の改修に合わせて効率的に実施していくよう、特定財源の確保も含め、検討していく。引き続き、様々な手段により、避難所の電力の確保に取り組む。



《Q》比丘尼坂以外で清流地区の避難経路の想定は

《A》バイパス道路建設の可能性を協議していく



石居 尚郎 議員（公明党）



清流地区からの唯一の避難経路となる、あきる野市道多西285号線

**水害・土砂災害における
清流地区の孤立対策を急げ**

野市道多西285号線（通称 比丘尼坂）以外に想定できないか。

質問 避難経路を、土砂災害のリスクのある、あきる野市道多西285号線（通称 比丘尼坂）以外に想定できないか。

バイパス道路の建設に関し、その実現の可能性について東京都やあきる野市と協議を行っていく。

市長 あきる野市道多西285号線以外の避難経路はない」と考へる。令和7年第1回定例会において、石居議員から「東京都の羽村大橋拡幅工事に併せて、清流地域の避難経路のバイパス

1回定例会において、石居議員から「東京都の羽村大橋拡幅工事に併せて、清流地域の避難経路のバイパス

は、太陽光発電装置及び蓄電池を設置している。今後の設置は、学校の再編や施設の改修に合わせて効率的に実施していくよう、特定財源の確保も含め、検討していく。引き続き、様々な手段により、避難所の電力の確保に取り組む。

**持続可能で安心できる
医療・介護の取組を**

質問 ※地域医療連携推進法人化への取組を研究・検討しては。

市長 有効と判断される場合には、西多摩地域広域行政圏協議会に調査・研究す

るなどを図り、地域医療構想を達成するための選択肢の一つとして創設された法人の認定制度。



《Q》公共施設再配置構想の決定時期を延長すべきでは

《A》大幅な内容変更や新たな課題が生じた場合は見直す



浜中 順 議員（日本共産党）

公共施設再配置構想
（たたき台）は

もっと周知し意見の聴取を

たたき台では、松林小学校と武蔵野小学校、羽村第二中学校と羽村第三中学校の統合、コミュニティセンター・中央児童館・小作台図書室などを廃止する案がある。

質問 施設利用者に統合・廃止の理由と時期を周知し、意見を聴取すべきでは。

また、パブリックコメントにかける「素案」作成までの検討経緯を含め、内容が分かるダイジェスト版を市内に全戸配布し、市民が参加しやすい日時に再び市民説明会を数多く開き、意見を聴取すべきでは。



廃止が予定されているコミュニティセンター



《Q》都の子ども食堂への補助金を市でも検討しては

《A》支援の在り方について調査・研究していく



秋山 義徳 議員（新政会）

こどもまんなか社会に
向けた取組について

質問

福生市では東京都の子供食堂推進事業補助金を活用し、子ども食堂に対しバックアップを始めている。

市長 令和4年は5件、約1600万円。令和5年は11件、約2100万円。令和6年は9件、約1900万円。令和7年は10月末時点で既に16件、約7770万円と昨年を上回る状況。

質問 市内被害者数及び被害額は。

質問

現時点での出没情報はない。猪は過去に出没しているが、人身被害や農作物への被害報告は受けていらない。

市長 現時点で熊の出没情報はない。熊、猪など、獣の出没の技術指導費は無料であった。部活動の地域移行に負担が増えるが、市はどう

小・中学校教育における保護者負担の軽減を

質問 これまで中学校部活動の技術指導費は無料であった。部活動の地域移行に負担が増えるが、市はどう

各団体の活動内容をまとめたチラシを作成し、小・中学校の全児童・生徒への配布や広報はむらを通じて活動の紹介をするなど、広く周知を行ってきた。

子ども食堂が地域における子供と家庭の居場所として継続できるよう、活動の周知などの側面的支援に取り組んでいく。

教育長 地域クラブ活動への移行は国の方針もある。国や都に活動への補助を引き続き要望していく。

市民の安全を守るために

特殊詐欺について



市は、特殊詐欺対策として、高齢者に自動通話録音機器を貸し出している

《Q》道路わきなどに雑草が生い茂っている理由は

《A》全ての路線で均一の頻度での除草が難しい状況



富松 崇 議員 (新政会)

道路の除草について

質問 道路わきや歩道、植樹帯などに雑草が生い茂っている箇所が多く見受けられる理由は。

市長 近年の季節変動の下、雑草の成長が早く、除草の頻度が増加し、対応に苦慮している。市が管理する道路は801路線あり、全ての路線で均一の頻度で対応することが難しい状況である。



市道に繁茂した雑草



《Q》(仮称)「地域探求フェスタ」の開催を

《A》実現の可能性について羽村高校と意見交換を行う



野崎 和也 議員 (新政会)

市内企業との協働による若者の市内定着促進と都立羽村高等学校の魅力発信について

質問 若者が地域に愛着を持つまちづくりにつなげるため、羽村高校と共に市の魅力も地域へ発信しては。

市長 意見交換を通じ、それを検討する。



都立羽村高等学校



市長 回収体制を整備する

質問 他自治体では回収を実施しているところもあるが、羽村市でも回収を始めてはどうか。

市長 処分について
リチウムイオン電池の

質問 他自治体では回収を実施しているところもあるが、羽村市でも回収を始めはどうか。

市長 劣化や不具合が想定されるため、更新に向けた検討が必要であると認識している。電気自動車用急速充電器も現在劣化による不具合が生じ、一般利用ができない状態となっている。機器の更新時期に合わせ、最新技術の導入と費用削減の方策を併せて調査・研究を進め、環境に配慮した取組を今後も継続していく。

質問 プロジェクトについて
エイゼムス

質問 太陽光発電システムやリチウムイオン二次電池の耐用年数が近づいていると考える。機器の交換には多額の費用が発生すると思うが、機器の入替えをどのように進めていく考えか。

市長 基づく基準の見直しについて
羽村市検査事務規程に

質問 基準を最後に改定した時期は。

市長 平成11年4月である。

質問 建設資材の高騰や労務単価の上昇と比較し、現行の基準は実態に即しているか。また、課題認識は。

市長 公共事業は、市民福祉の向上に資するものであり、適切に実施する必要がある。基準の見直しは、工事の適正な履行の確保を大原則とした上で、効率性と

方向で検討を進めており、有害ごみとして取り扱う予定。令和8年4月からの回収実施に向け、具体的な準備を進めている。

質問 携により、効果的な手法の調査・研究を進める。

質問 高校生の視点を地域の力として活用する、(仮称)「地域探求フェスタ」の開催を。

《Q》補助金を活用し、水道料金の減免を行うべきでは？

《A》交付金を活用した様々な施策の検討を行っている

鈴木 拓也 議員（日本共産党）



国が補助金を活用した水道料金の減免を行なった。

**使いやすい
プレミアム付き商品券と
水道料金の減免の実施を！**

質問 プレミアム付き商品券が再販売されていました。なぜか。

市長 申込みの口数が予定を下回ったため、追加販売を行なった。

質問 今後は、デジタルだけでなく、紙の商品券を販売すべきではないか。

市長 効果的な手法を商工会とともに研究していく。

質問 国の補助金を活用し、水道料金の減免を行うべきではないか。

市長 交付金を活用した物価高対策について、府内で様々な施策の検討を行なっている。

その他の質問
都計画税はどこにどう使われている？



学校の統廃合は

保護者・子供の意見を十分踏まえたものに！

質問 私の独自調査では、松林小学校の保護者の約7割が、武蔵野小学校との統合に反対している。こうした状況下で、統合は行うべきではないのでは。

教育長 統合そのものに反対の意見が多数を占める状況にはないと捉えている。

質問 対象校の全保護者、児童・生徒にアンケートを行い、計画に反映させるべきではないか。

教育長 懇談会等を通じ、市民から意見を伺い、児童・生徒には学校再編に関するアンケートを実施した。関係者と意見交換を行いながら、進めていく。

質問 来年3月の構想決定は延期すべきではないか。

市長 今年度中の決定を基本として進める。

《Q》羽村駅西口交通広場の整備予定は

《A》令和12年度以降と想定している

濱中 俊男 議員（羽村市議会都民ファーストの会）



羽村大橋

羽村駅西口土地区画整理事業の進展について

事業の進展について

質問 現在の課題をどう捉えているか。

市長 課題は移転協議の進捗と捉えている。権利者本人や家族の状況に十分配慮しながら、丁寧な説明と信頼関係の構築を基本に進めている。

市長 引き続き、権利者に寄り添った対応を心掛け、関係権利者のご理解、ご協力をいただきけるよう取り組んでいく。

質問 都市計画道路3・4・12号線の工事の着手は、本路線は早急に整備する必要があると考えている。現在、警視庁や西多摩

市長 本路線は早急に整備する必要があると考えている。

質問 来年3月の構想決定は延期すべきではないか。

市長 今年度中の決定を基本として進める。

建設事務所と協議中であり、令和9年度以降の工事着手を目指している。

質問 羽村駅西口の駅前交通広場の整備予定は。

市長 本格的な整備時期は令和12年度以降になるものと想定している。

質問 羽村駅西口の更なる商業振興策を考えては。

質問 駅前交通広場整備後の観光案内所の場所及び、観光施策をどうしていく考えか。

市長 観光案内所は駅周辺に配置するのが望ましいと考えている。

質問 新たな観光案内所を市の地域資源や魅力を発信する中核施設とし、市の多様な魅力を発信するよう取り組む。誘客の促進と地域経済の活性化に資する観光振興を推進する。

《Q》認知症サポーター養成講座を中学生に実施する理由は

《A》若い年代から認知症への理解を深めることが重要



林田 敦子 議員（令和かがやき）

小学校でも認知症サポーター 養成講座を

現在、市は中学一年生を対象に講座を実施している。
対象に講座を実施する理由は。

質問 中学一年生を対象に講座を実施する理由は。



認知症サポーター小学生養成講座
副読本



《Q》1人1冊だった漫画の貸出冊数の変更は

《A》令和7年6月から1人5冊に変更した



門間 淑子 議員（市民ネットワーク）

利用しやすく 居心地の良い図書館を

あり、12月中に集計結果の公表を予定。自由意見に対する図書館の見解は、令和7年度中に公表する予定。

質問 令和6年度・7年度の新聞のタイトル数は。

教育長 令和6年度は18タイトル。令和7年度は英字新聞が1紙増え、19タイトル。

質問 雑誌のタイトル数は。

教育長 11月15日、16日の両日で343人が参加。配布機会を増やすよう検討する。

質問 本のリサイクルは好評だが開催回数を増やしてはどうか。

の貸出冊数の変更は。

教育長 令和7年6月から、1人5冊に変更した。



12月の図書館：クリスマスツリーや福ブックが楽しい



《Q》区画整理は見直しを

道路率30%の 区画整理は見直しを

教育長 令和6年度は120タイトル、令和7年度はこれまでに120タイトルを購入している。

質問 1人1冊だった漫画を購入している。

市長 屋外での設置は、盗難や破損、精密機器であるが故の不具合時の対応、管理・保安方法など課題がある。

質問 設置が必要では。

市長 設置していない。

質問 設置が必要では。

市長 設置している。

質問 建設資材や人件費の高騰はどのように影響しているか。

市長 全ての事業費に影響が生じるが、権利者の負担軽減と市の財政負担の軽減のための工夫策を講じながら、効率的・効果的に事業を実施していく。

